

令和6年度第3回タウンミーティング 地域課題及び要望事項 回答書 北条・北条東地区

	項目名	内容	地区・場所	備考	担当	回答
1	消防ホース乾燥柱新設及び火の見櫓解体事業に関する要望	<p>残存する火の見櫓は既に60年近く経過しており、危険な状態になっています。この火の見櫓を解体し、新たに消防ホース乾燥柱を設置する場合、100万円以上の高額な事業費が必要となるので、新たな補助制度の設立など検討いただけないか。 (西南区より防災課に要望書提出済み)</p>	加西市全域		政策部	<p>現行の補助制度ではご負担が大きいことは理解しており、令和7年度予算に計上できるよう制度の整備を行っているところです。</p>
2	水道管の耐震化について	<p>7月の神戸新聞に兵庫県内の基幹管路の水道管耐震化率に関する記事が掲載されていました。トップが稲美町98.60%、小野市76.59%、西脇市59.77%、加東市39.78%、加西市35.26%とありました。 震災等の大規模災害時の水道管の安全は防災上重要課題と考えますが、加西市の基幹管路以外の耐震化率と今後の計画について教えてほしい。</p>	加西市全域		環境部	<p>◎耐震化率の状況 基幹管路(ポンプ所から配水池までの送水管路)の延長は5.70kmです。うち耐震管路及び準耐震管路は、2.01kmで耐震化率は35.26%です。ただし、令和8年度以降に市川町からの供給が終了すれば基幹管路が1.94kmとなり、すべてが耐震管路で耐震化率は100%となります。 基幹管路以外の水道管路(配水池から水道水を供給する配水管路)の延長は約456.1kmです。うち耐震管路及び準耐震管路は380.9kmで耐震化率は83.5%です。 なお、準耐震管路は、耐震管でない管路のうち、地盤の状況、布設年度、管材質などを総合的に判断し、耐震管路と評価できる管路としています。</p> <p>◎今後の計画 現在、耐震管でない管路の75.2kmのうち、配水池から災害時避難施設などの重要給水施設への配水管路の耐震化を図るため、国の交付金を活用して水道管路更新事業を実施中です。今後も事業場所など、管路更新計画を見直したうえで、引続き水道管路更新事業(耐震化事業)を計画的に進めます。</p> <p>◎現行の事業内容 寺山配水池(北条町黒駒)から富田小学校(窪田町)への配水管路の更新事業 事業期間：令和4年度-令和8年度 事業概要：更新延長 L=2.2km、口径 φ 600mm-φ 300mm</p>

3	市道および県道の街路樹について	<p>街路樹の落葉の清掃は、近隣住民及び店舗にとって負担が大きい。 定期的な剪定や落葉の清掃を市や県が行って欲しい。地元で清掃を望むのであれば、ゴミ袋の配布や定期的なゴミ袋回収を行ってほしい。</p>	街路樹のある市道、県道沿線		建設部	<p>日頃の清掃などご協力いただいておりますことに感謝申し上げます。街路樹は定期的に剪定を行っておりますが、歩道の樹木管理は、多額の費用が掛かるため景観も考慮しながら、撤去も検討しています。具体的には、通行者の安全も考慮し北条小学校前、加西消防署前の「つつじ」の撤去を考えています。またダイソーから市役所にかけて植えられている「かえで」についても計画的に間引いていくよう考えています。この度、地元の皆様に大きなご負担をお掛けしている現状を踏まえ、積極的に行いたいと思っておりますので、撤去を要望される箇所をご教示いただけますと幸いです。また、県道についても地元の意向を踏まえ、撤去等の要望を行ってまいります。</p>
4	鳥の糞公害について	<p>令和5年11月第2回タウンミーティングの回答で、「県と市で協力し、関西電力に速やかに対応してもらえるよう、要請しているところであります。日常の対応は、市の方で適宜行いたいと思っております。【追記】関西電力と協議の結果、横尾交差点(セブンイレブン加西横尾点前)に撃退効果音装置を設置していただくことが決まりました。」とありましたが、現状をどのように認識されていますか？市で清掃等の対応を行われたことはありますか？ 撃退効果音装置の設置効果をどのように評価されていますか？前回要望しました電線地中埋設化が難しいのであれば、早急に抜本的な対策を示してほしい。</p>	サンスポーツクラブ～ながさわ～すき家・北条町横尾第2交差点から横尾交差点周辺		建設部	<p>横尾・横尾第2交差点のカラス対策として、電線を管理する関西電力送配電線に依頼し、令和2年に剣山型の飛来妨害線を電線に張ってもらいました。その効果が芳しくなかったため、令和5年11月には「撃退効果音装置」を設置してもらいました。それから、令和6年春までの約半年間は、糞害は収まっていたのですが、以後は、カラスが「おどし音」であることを学習し、糞害が再発している状況です。 最近では、交通量が少なくなる午後10時前後に約300～400羽が飛来し、明け方まで留まっており、いくら追い払いをしても数時間後に戻ってくることを繰り返している状況です。 また、糞に害虫が寄ってくる懸念の意見もあるため、市としても側溝清掃や薬剤の散布等も行ってはいますが解決に至っていません。カラス被害の防止は、全国各地で音や光を使ったものが試行錯誤されていますが、完全な対策は確立されていないとのことです。ただ関西電力からは、新たに360度とげのある電線防護管を設置してみると聞いており、対策の強化を図っていきたく考えています。 今後とも、関西電力送配電線と協力し対策について調査研究してまいります。</p>

5	空き家対策について	令和5年11月第2回タウンミーティングの回答で、「適正な管理が行われていない空き家に関しては、「空家対策特別措置法」及び「加西市空き家等の適正管理に関する条例」に基づき、所有者及び相続人に対して、適正な管理が行われるよう、可能な限り早急な対応を行います。」とありましたが、その後の進展をお知らせください。以前相談した空き家については、進展が見受けられません。	北条町横尾214-1		政策部	現在、今年度で期日を迎える『加西市空家等対策計画』の改定を進めているところでございます。空家等対策の推進に関する特別措置法の改正及び加西市空き家等の適正管理に関する条例の改正を反映させたものに、具体的な対応策の検討を行っておりますので、今しばらくお待ちいただければと思います。
6	雨水下水路の整備について	令和5年11月第2回タウンミーティングの回答で「下水道事業計画区域は中国縦貫道路南側の市道古坂谷線より南側のため、要望内容にある横尾区内の用水路等について、現状農地利用がされており、今後現地調査等を実施し、必要な場合は、市の財政面を考慮し整備を検討します。また、提案の「中国道北側側道に雨水下水渠を新設して、下流の雨水渠に流す工事をお願いしたい。」については、農業排水事業などの事業手法を検討します。」とありましたが、その後の検討結果を教えてください。	中国道北側、加西市北条町横尾と栗田との境界部		環境部	北条市街化区域、中野市街化区域などの下水道事業計画区域内については、下水道(雨水)による浸水対策を計画的に進めることを目的とする雨水管理総合計画策定に向けて、現地調査、内水シミュレーション及び雨水管理方針の策定業務を実施しています。中国道の南側につきましては、下水道事業計画区域内ですので、今年度行う内水氾濫シミュレーションの結果、内水浸水想定区域であれば、国の補助金を活用して雨水水渠整備が行える可能性はありますが、当地区は開発の可能性の高い地区でありますので、開発にあわせて水渠整備を行うことが、効果的と考えています。中国道の北側につきましては、兵庫県に確認しましたが、農業排水事業で、整備するメニューはないという回答でした。